

12月の果実の見通し

令和4年11月30日現在
山形県東京事務所

区分 品目	主産地	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		販売見通し
		前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込	5カ年 平均	前年 入荷量 (t)	前年 占有率 (%)	
りんご類	青森 長野 山形 ほか	5050	115%	6299	426	安い	339	492	9.7%	やや出荷が遅れていた長野・山形産も本格出荷に入る。昨年は天候による着果減であったため出荷少なかったが、本年度は各産地1~2割増量していく見通し。青森産は平年並みの在庫量と予測するが大玉傾向のため箱数は多くなる見込み。輸出・贈答需要に該当する等階級は昨年に近い単価となる予想。
西洋なし類	山形 新潟 ほか	422	120%	604	556	安い	429	282	66.8%	山形産「ラ・フランス」は年末まで堅調な入荷を見込む。11月いっぱい終了するJAもあるが、12月の販売は11月より少なくなるものの前年を上回る入荷量になる見込み。新潟産「ルレクチエ」は11月19日販売より販売開始となり11月末~12月上旬が出荷ピーク見込み。入荷は12月末まで順調で価格は前年に比べ若干安くなる。
かき類	福岡 奈良 ほか	1699	110%	2070	398	安い	339	12	0.7%	「たねなし柿」の販売は11月で終了となり、「次郎柿」の販売は12月上旬で終了となる。「富有柿」の販売は上中旬で終了となり「袋掛け」中旬、「冷蔵物」は下旬から販売が始まる。「富有柿」の生果は上旬で終了となり中旬から「冷蔵物」の販売に入り平年並みからやや少なくなる見込み。柿全体においては前年より多く価格は平年並みから安くなる見通し。
干し柿	山梨 長野 福島	483	110%	524	2494	並み ~ 安い	2236	14	2.9%	長野産「市田柿」の販売は11月25日からスタート。昨年は豊作年のため多くなったが本年度は少なく12月下旬から出荷ピークに入る。山梨産「枯露柿」は平年通り上旬より販売開始。前年は少なかったが本年度は多くなる見込み。富山産「干し柿」は上旬からで、出荷量は前年並みから少なくなる。福島産「あんぼ柿」は原料は多いものの奇形果が多く干し柿に回るものが少なく、また小玉傾向のため出荷は平年より少なくなる見込み。価格は平年に比べ若干安くなると思われる。
みかん類	愛媛 長崎 熊本 ほか	30806	90%	31864	291	並み	300	-	-	本年度は10月の天候の影響で生育遅れとなり出荷減少となったが、11月以降は天候も回復し仕上がりはどこも良好。「早生みかん」は12月中旬で販売終了の見込み。玉流れは例年よりやや大きく、M>L>Sサイズ。中旬からは「普通温州」が始まり、みかん類総入荷量は前年並み~やや少なく、価格は前年並みを見込んでいる。「葉付きみかん」の販売は12月22日頃を予定している。

引用資料:「東京都中央卸売市場における果実の品目別取扱実績」(青果物情報センター)、果実の入荷・市況見通しについて(東京青果株)

入荷量について:「0」はラウンドして1tに満たない入荷があったもの。「-」は本県のデータがないもの(入荷がないか、又は少なかったためにその他の産地に含まれる)